

(B) 歳 入

令和4年度における一般会計歳入決算額は 153,729,463,474 千円
 であって

歳入予算額	139,219,569,097 千円						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">107,596,424,558 千円</td> </tr> <tr> <td>予算補正追加額</td> <td style="text-align: right;">31,624,234,293 千円</td> </tr> <tr> <td>予算補正修正減少額</td> <td style="text-align: right;">1,089,754 千円</td> </tr> </table>	当初予算額	107,596,424,558 千円	予算補正追加額	31,624,234,293 千円	予算補正修正減少額	1,089,754 千円	
当初予算額	107,596,424,558 千円						
予算補正追加額	31,624,234,293 千円						
予算補正修正減少額	1,089,754 千円						
に対し	14,509,894,377 千円						

の増加となるが、この増加額には前年度剰余金受入が予算額に対して増加した額
 22,427,270,873 千円
 が含まれているので、これを差し引くと、純歳入においては
 7,917,376,495 千円
 の減少となる。その内訳は

租税及印紙収入における増加	2,778,395,405 千円
官業益金及官業収入における増加	9,184,123 千円
政府資産整理収入における増加	63,538,959 千円
雑収入における増加	1,231,505,231 千円
公債金における減少	12,000,000,215 千円

である。

なお、歳入予算額の性質(部)別内訳を示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

性 質 (部)	当初予算額	補正予算額	計
租 税 及 印 紙 収 入	65,235,000,000	3,124,000,000	68,359,000,000
官 業 益 金 及 官 業 収 入	50,921,756	—	50,921,756
政 府 資 産 整 理 収 入	251,716,395	54,240,203	305,956,598
雑 収 入	5,079,640,601	△ 619,905,604 1,089,754	5,698,456,451
公 債 金	36,926,000,000	25,552,917,255	62,478,917,255
前 年 度 剰 余 金 受 入	53,145,806	2,273,171,231	2,326,317,037
計	107,596,424,558	△ 31,624,234,293 1,089,754	139,219,569,097

以下、主な歳入について説明する。

歳入を性質(部)別に区分し、その歳入予算額と歳入決算額とを比較してみると、次のとおりである。

一般会計歳入予算決算額比較表

(単位 千円)

性質(部)	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
租税及印紙収入	68,359,000,000	71,137,395,405	71,137,395,405	—	—	2,778,395,405	104
官業益金及官業収入	50,921,756	60,151,358	60,105,879	12,522	32,957	9,184,123	118
政府資産整理収入	305,956,598	369,586,272	369,495,557	—	90,715	63,538,959	120
雑収入	5,698,456,451	6,996,360,366	6,929,961,682	545,980	65,852,703	1,231,505,231	121
公債金	62,478,917,255	50,478,917,039	50,478,917,039	—	—	△12,000,000,215	80
前年度剰余金受入	2,326,317,037	24,753,587,910	24,753,587,910	—	—	22,427,270,873	1,064
計	139,219,569,097	153,795,998,353	153,729,463,474	558,502	65,976,376	14,509,894,377	110

また、平成30年度から令和4年度までの各年度における性質(部)別の歳入決算額(収納済歳入額)を示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

性質(部)	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
租税及印紙収入	60,356,384,506	58,441,533,340	60,821,604,189	67,037,885,435	71,137,395,405
官業益金及官業収入	50,745,666	51,256,758	46,412,087	61,112,747	60,105,879
政府資産整理収入	268,045,634	226,385,402	292,882,155	318,992,689	369,495,557
雑収入	5,098,397,322	7,138,627,026	7,068,107,185	7,348,632,141	6,929,961,682
公債金	34,395,399,729	36,581,851,815	108,553,923,933	57,654,999,701	50,478,917,039
前年度剰余金受入	5,528,445,263	6,722,721,579	7,795,908,693	36,981,479,254	24,753,587,910
計	105,697,418,124	109,162,375,922	184,578,838,246	169,403,101,970	153,729,463,474

1 租税及印紙収入

一般会計における租税及印紙収入は、「国税収納金整理資金に関する法律」(昭29法36)に基づき、国税収納金整理資金から歳入に組み入れられる租税及び印紙収入(現金納付によるもの)と、「印紙をもつてする歳入金納付に関する法律」(昭23法142)に基づき、日本郵便株式会社から納付される印紙収入(収入印紙の売りさばきによるもの)からなるものであって、同資金及び同社から受け入れた歳入決算額を歳入予算額と比較して示せば、次のとおりである。

租税及印紙収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
租 税	67,415,000,000	70,155,274,743	70,155,274,743	2,740,274,743	104
所得 税	22,019,000,000	22,521,660,907	22,521,660,907	502,660,907	102
源泉 所得 税	18,495,000,000	18,736,484,614	18,736,484,614	241,484,614	101
申告 所得 税	3,524,000,000	3,785,176,293	3,785,176,293	261,176,293	107
法人 税	13,787,000,000	14,939,797,336	14,939,797,336	1,152,797,336	108
相続 税	2,839,000,000	2,969,397,094	2,969,397,094	130,397,094	104
消費 税	22,161,000,000	23,079,294,426	23,079,294,426	918,294,426	104
酒 税	1,128,000,000	1,187,565,480	1,187,565,480	59,565,480	105
たばこ 税	934,000,000	956,707,835	956,707,835	22,707,835	102
揮発油 税	2,079,000,000	2,065,276,443	2,065,276,443	△ 13,723,556	99
石油ガス 税	5,000,000	4,711,363	4,711,363	△ 288,636	94
航空機燃料 税	34,000,000	31,491,027	31,491,027	△ 2,508,972	92

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
石油石炭税	660,000,000	663,030,358	663,030,358	3,030,358	100
電源開発促進税	313,000,000	312,203,877	312,203,877	△ 796,122	99
自動車重量税	385,000,000	393,499,482	393,499,482	8,499,482	102
国際観光旅客税	9,000,000	12,622,428	12,622,428	3,622,428	140
関税	1,053,000,000	1,008,414,461	1,008,414,461	△ 44,585,538	95
とん税	9,000,000	9,589,618	9,589,618	589,618	106
地価税	—	4,914	4,914	4,914	—
旧税	—	7,687	7,687	7,687	—
印紙収入					
印紙収入	944,000,000	982,120,661	982,120,661	38,120,661	104
収入印紙	538,000,000	510,700,584	510,700,584	△ 27,299,415	94
現金収入	406,000,000	471,420,077	471,420,077	65,420,077	116
計	68,359,000,000	71,137,395,405	71,137,395,405	2,778,395,405	104

上記のうち、主要税目について説明すれば、次のとおりである。

(1) 所得税

源泉所得税と申告所得税に分けて予算額と決算額とを比較すれば、次のとおりである。

(単位 百万円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	(B) / (A) (%)
源泉所得税	18,495,000	18,736,484	101
申告所得税	3,524,000	3,785,176	107
計	22,019,000	22,521,660	102

(イ) 源泉所得税

(単位 百万円)

区 分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	20,914,000	21,205,601	291,601
繰越滞納分収入額等(B)	19,000	22,013	3,013
合計収入額(A)+(B)(C)	20,933,000	21,227,615	294,615
還付税額(D)	2,438,000	2,491,130	53,130
差引歳入額(C)-(D)(E)	18,495,000	18,736,484	241,484

(注) 「繰越滞納分収入額等」には、納税の猶予の制度が適用された国税のうち、収納された金額を含む。以下同じ。

源泉所得税は、配当所得に対する課税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して2,916億円(1.3%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して2,414億円(1.3%)の増収となった。

(ロ) 申告所得税

(単位 百万円)

区 分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	3,618,000	3,938,694	320,694
繰越滞納分収入額等(B)	100,000	75,488	△ 24,511
合計収入額(A)+(B)(C)	3,718,000	4,014,182	296,182
還付税額(D)	194,000	229,006	35,006
差引歳入額(C)-(D)(E)	3,524,000	3,785,176	261,176

申告所得税は、事業所得に対する課税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算

額に対して3,206億円(8.8%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して2,611億円(7.4%)の増収となった。

(2) 法人税

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額と決算額との差
本年度分税額 (A)	15,413,000	16,574,832	1,161,832
繰越滞納分収入額等 (B)	30,000	54,859	24,859
合計収入額(A) + (B) (C)	15,443,000	16,629,691	1,186,691
還付税額 (D)	1,656,000	1,689,894	33,894
差引歳入額(C) - (D) (E)	13,787,000	14,939,797	1,152,797

法人税は、申告税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して11,618億円(7.5%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して11,527億円(8.3%)の増収となった。

(3) 消費税

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額と決算額との差
本年度分税額 (A)	29,697,000	30,838,926	1,141,926
繰越滞納分収入額等 (B)	182,000	236,643	54,643
合計収入額(A) + (B) (C)	29,879,000	31,075,570	1,196,570
還付税額 (D)	7,718,000	7,996,275	278,275
差引歳入額(C) - (D) (E)	22,161,000	23,079,294	918,294

消費税は、申告税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して11,419億円(3.8%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して9,182億円(4.1%)の増収となった。

(4) 酒 税

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額と決算額との差
歳 入 額	1,128,000	1,187,565	59,565

酒税は、ビールの課税数量が見込みを上回ったこと等により、決算額は予算額に対して595億円(5.2%)の増収となった。

2 官業益金及官業収入

官業益金及官業収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
官 業 収 入	50,921,756	60,151,358	60,105,879	12,522	32,957	9,184,123	118
病院収入	16,041,133	17,576,021	17,536,734	11,587	27,699	1,495,601	109
国有林野事業収入	34,880,623	42,575,337	42,569,145	934	5,257	7,688,522	122

官業収入が予算額に対して91億円増加したのは、国有林野事業収入において林産物の販売単価が予定を上回ったこと等のためである。

3 政府資産整理収入

政府資産整理収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と取 納済歳入額との 差	歳入予算額 に対する取 納済歳入額 の割合(%)
国有財産処分収入	42,057,315	40,641,154	40,625,363	—	15,790	△ 1,431,951	96
国有財産売払収入	36,840,285	40,461,154	40,445,363	—	15,790	3,605,078	109
特定国有財産売払 収入	5,217,030	—	—	—	—	△ 5,217,030	—
有償管理換収入	—	180,000	180,000	—	—	180,000	—
回収金等収入	263,899,283	328,945,118	328,870,193	—	74,924	64,970,910	124
特別会計整理収入	89,899,977	89,907,809	89,907,809	—	—	7,832	100
貸付金等回収金収入	86,249,550	146,445,093	146,370,169	—	74,924	60,120,619	169
東日本大震災復興 貸付金等回収金収入	216,458	216,458	216,458	—	—	—	100
東日本大震災復興 放射性物質汚染対 策緊急除染等事業 費回収金収入	29,555,472	32,250,816	32,250,816	—	—	2,695,344	109
引継債権整理収入	24	—	—	—	—	△ 24	—
政府出資回収金収入	57,930,206	60,095,936	60,095,936	—	—	2,165,730	103
事故補償費返還金	47,596	27,821	27,821	—	—	△ 19,774	58
東日本大震災復興 事故由来放射性物 質汚染対処費回収 金収入	—	1,181	1,181	—	—	1,181	—
計	305,956,598	369,586,272	369,495,557	—	90,715	63,538,959	120

上記のうち、主なものについて説明すれば、次のとおりである。

- (1) 国有財産処分収入が予算額に対して14億円減少したのは、特定国有財産売払収入において特定の国有財産の売払いがなかったこと等のためである。
- (2) 回収金等収入が予算額に対して649億円増加したのは、貸付金等回収金収入において独立行政法人日本学生支援機構からの貸付金の償還が予定より多かったこと等のためである。

4 雑 収 入

雑収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と取 納済歳入額との 差	歳入予算額 に対する取 納済歳入額 の割合(%)
国有財産利用収入	121,091,525	120,383,272	120,075,831	61,189	246,251	△ 1,015,693	99
国有財産貸付収入	54,785,961	53,903,526	53,621,519	36,316	245,690	△ 1,164,441	97
国有財産使用収入	3,411,551	3,511,664	3,511,664	0	—	100,113	102
利 子 収 入	46,917	76,189	50,756	24,873	560	3,839	108
配 当 金 収 入	62,847,096	62,891,891	62,891,891	—	—	44,795	100
納 付 金	1,451,455,769	2,531,627,128	2,531,512,728	—	114,400	1,080,056,959	174
法科大学院設置者 納付金	49,180	48,780	48,780	—	—	△ 400	99
日本銀行納付金	931,200,000	1,983,165,390	1,983,165,390	—	—	1,051,965,390	212
独立行政法人造幣 局納付金	1,746,330	4,706,463	4,706,463	—	—	2,960,133	269

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納額の割合(%)
独立行政法人日本スポーツ振興センター納付金	3,877,734	3,877,733	3,877,733	—	—	△ 0	99
日本中央競馬会納付金	340,479,993	369,277,762	369,277,762	—	—	28,797,769	108
特定アルコール譲渡者納付金	10,621,930	8,380,370	8,380,370	—	—	△ 2,241,559	78
特定タンカー所有者納付金	98,000	—	—	—	—	△ 98,000	—
雑 納 付 金	163,378,132	162,166,158	162,051,758	—	114,400	△ 1,326,373	99
東日本大震災復興雑納付金	4,470	4,469	4,469	—	—	△ 0	99
諸 収 入	4,125,909,157	4,344,349,964	4,278,373,122	484,790	65,492,051	152,463,965	103
特別会計受入金	1,698,963,010	1,698,126,084	1,698,126,084	—	—	△ 836,925	99
東日本大震災復興食料安定供給特別会計受入金	30	29	29	—	—	△ 0	98
公共事業費負担金	747,324,537	740,753,348	740,717,430	—	35,918	△ 6,607,106	99
東日本大震災復興公共事業費負担金	13,560	13,560	13,560	—	—	0	100
授業料及入学検定料	119,318	99,226	99,199	—	27	△ 20,118	83
許 可 及 手 数 料	77,236,036	74,296,458	74,291,870	742	3,845	△ 2,944,165	96
受託調査試験及役務収入	106,991,039	97,980,577	97,980,577	—	—	△ 9,010,461	91
懲 罰 及 没 収 金	91,485,927	80,982,021	80,981,565	—	456	△ 10,504,361	88
弁 償 及 返 納 金	1,154,646,598	1,384,894,579	1,323,528,539	421,149	60,944,891	168,881,941	114
物 品 売 払 収 入	4,676,013	9,063,898	9,063,898	—	—	4,387,885	193
電波利用料収入	74,995,721	78,275,380	74,042,895	2,762	4,229,721	△ 952,825	98
特定基地局開設料収入	9,100,000	11,927,397	11,927,397	—	—	2,827,397	131
矯正官署作業収入	2,821,246	2,150,339	2,150,339	—	—	△ 670,906	76
文官恩給費特別会計等負担金	265,593	265,593	265,593	—	—	—	100
附帯工事費負担金	16,459,000	17,613,126	17,414,908	11,086	187,131	955,908	105
雑 入	140,811,529	135,443,209	135,304,099	49,049	90,060	△ 5,507,429	96
東日本大震災復興物品売払収入	—	5,961	5,961	—	—	5,961	—
東日本大震災復興弁償及返納金	—	2,075,935	2,075,935	—	—	2,075,935	—
貨幣回収準備資金受入	—	10,377,031	10,377,031	—	—	10,377,031	—
東日本大震災復興雑入	—	6,204	6,204	—	—	6,204	—
計	5,698,456,451	6,996,360,366	6,929,961,682	545,980	65,852,703	1,231,505,231	121

上記のうち、主なものについて説明すれば、次のとおりである。

- (1) 国有財産利用収入が予算額に対して10億円減少したのは、国有財産貸付収入において土地の貸付料が予定より少なかったこと等のためである。
 - (2) 納付金が予算額に対して10,800億円増加したのは、日本銀行納付金において外国為替相場の変動により為替差益が生じたこと等のためである。
 - (3) 諸収入が予算額に対して1,524億円増加したのは、弁償及返納金において新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費臨時補助金の返納金が予定より多かったこと等のためである。
- なお、特別会計受入金の内訳は、次のとおりである。

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
特別会計受入金	1,698,963,010	1,698,126,084	1,698,126,084	△ 836,925	99
外国為替資金特別会計受入金	1,424,483,658	1,424,483,658	1,424,483,658	—	100
財政投融资特別会計受入金	270,144,398	270,128,698	270,128,698	△ 15,699	99
エネルギー対策特別会計受入金	8	8	8	—	100
年金特別会計受入金	806,150	11,877	11,877	△ 794,272	1
食料安定供給特別会計受入金	3,377,572	3,372,616	3,372,616	△ 4,955	99
自動車安全特別会計受入金	151,224	129,225	129,225	△ 21,999	85
東日本大震災復興食料安定供給特別会計受入金					
食料安定供給特別会計受入金	30	29	29	△ 0	98
計	1,698,963,040	1,698,126,113	1,698,126,113	△ 836,926	99

なお、上記のうち、食料安定供給特別会計から受け入れた29千円については、「特別会計に関する法律」(平19法23)第227条の規定により東日本大震災復興特別会計へ繰り入れを行っている。

5 公 債 金

公債金予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
公 債 金	8,727,000,000	8,726,999,897	8,726,999,897	△ 102	99
特 例 公 債 金	53,751,917,255	41,751,917,142	41,751,917,142	△ 12,000,000,112	77
計	62,478,917,255	50,478,917,039	50,478,917,039	△ 12,000,000,215	80

特例公債金が予算額に対して120,000億円減少したのは、特例公債の発行が予定より少なかったためである。

6 前年度剰余金受入

前年度剰余金受入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
前年度剰余金受入	2,207,843,341	24,635,114,214	24,635,114,214	22,427,270,873	1,115
東日本大震災復興前年度剰余金受入	118,473,696	118,473,696	118,473,696	—	100
計	2,326,317,037	24,753,587,910	24,753,587,910	22,427,270,873	1,064

前年度剰余金受入が予算額に対して224,272億円増加したのは、令和4年度への繰越歳出予算財源等の受入れがあったためである。

なお、歳入予算額は、令和3年度の「財政法」(昭22法34)第41条の剰余金のうち、歳出予算補正の財源に充てるための受入額に相当する額であり、

収納済歳入額は、令和3年度の「財政法」第41条の剰余金のうち、

- ① 令和4年度への繰越歳出予算財源の受入額
- ② 歳出予算補正の財源に充てるための受入額

等との合算額に相当する額である。